

ようこそ、刈高のホームページへ！

愛知県立刈谷高等学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は1919(大正8)年に愛知県立第八中学校として開校して以来、刈谷中学校、刈谷南高校、刈谷高校と変遷を遂げ、現在創立108年目迎えた歴史ある伝統校です。「質実剛健」を校訓に、本校を巣立った三万人以上の卒業生は、これまで愛知県内は言うに及ばず、国内外においても政財官界はもとより、教育、文化、芸術、科学等様々な分野でめざましい活躍を重ねております。

本校の最大の特色は、日常の授業を大切に学習活動に熱心に取り組み、粘り強く自らの進路実現を目指して奮闘努力し、初志貫徹を果たすことにより高い進学実績を誇ってきたことです。また部活動は運動部文化部とも熱心に活動し、全国大会出場経験がある部も複数あります。学校行事は、一般公開される「刈高祭」をはじめ、サカハン大会やサイエンスデー等、生徒が主体的に取り組み、知・徳・体のバランスの取れた人間教育が行われていることも特色と言えます。2025(令和7)年度には、時代を変革させる「チェンジメーカー」の育成を念頭に、中高一貫校第一次導入校として刈谷高等学校附属中学校が刈谷高校内に併設され、開校しました。附属中第1期入学生は、主体的かつ協働的な探究活動で飛躍的な成長を遂げ、学びのサイクルを確かな足跡として残すことができました。また、高校では3期15年にわたるSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)の成果をさらに深めるべく、文部科学省から第4期SSH事業が採択されました。

今年度に入り、附属中学校には第2期生が入学し、これにより中高合わせて5学年1300名超の生徒が通う、県内最大規模の県立学校となりました。またSSH第4期の初年度として、刈谷高校が独自に第3の類型と位置付ける「探究系」を先導役とし、文系理系を問わず全校体制で取り組む「課題研究」を基に「サイエンスマッチ」や「全校英語口頭発表会」といった取組に、データサイエンスの手法と地域や小中学校・大学、研究機関等の外部機関との連携を軸に、すそ野の広い活動に発展させてまいります。

中高一貫校ならではの、そして刈谷高校・附属中学校でしかできない教育活動を進め、深め(進化と深化)、変化を厭わず変化を生かし挑戦する本校にご注目ください。

2026(令和8)年4月 校長 有賀洋之